

【日 時】 平成 26 年 3 月 19 日

【訪問先】 西柴中学校 羽賀康明校長先生

【概 要】 児童数 432 名 14 学級 各学年 3 学級 特別支援学級 2 組 職員数 26 名

【視察報告】

1、校長先生のモットー

『ほめること』子供たち・先生たちをほめる。人はほめることで伸びる。

2、英語・国際教育の取り組み

親が外国籍の子供はいるが、日本語を話すことができるので、学校生活において不自由はない。親が日本語を話せない場合があり、他の保護者とうまくつながりが持てないという不安をいかに解消するかが課題。また AET が常駐している。



3、地域のボランティアの協力

図書ボランティアの方が図書館の本の整理やバーコードシステム導入に向けてのサポートをしている。3年生を対象とした総合学習講座の授業では、地域の方が講師となり、琴や太鼓・日本舞踊や書写など、自分の興味に合わせて選択することができる様々な体験学習が用意されている。その成果を文化祭で披露している。また『西柴土曜塾』では、中学校の図書館を利用して、昔遊びや英語を通して地域の方と交流している。

4、地域との防災の取り組み

地域防災訓練に生徒(保健委員と希望者)が 10~20 名参加している。

5、道徳教育や郷土愛を育む取り組み

上記の総合学習講座では、地域の方と交流しながら、様々な日本の伝統文化に触れることができる。1年生は称名寺へ校外学習に行く。

6、体力強化や部活動の取り組み

『西柴ハピネス』と題して、毎年2月にクラス対抗の縄跳び大会を開催している。また、体育祭でも大縄跳びがあり、体育祭前の昼休みには各クラスが大縄跳びの練習をする。

7、学校組織の強化・人材育成

いじめを防ぐには早期発見が大切。年に数回、生活調査アンケートを実施しており、情報がいち早く入ってくる環境作りを進めている。

8、その他

小学校と中学校とのつながりを大切にしており、中でも西柴小学校とは交流が深い。

【所感】

他の中学校ではあまり見られない独自の総合学習講座が用意されており、子供たちが様々な体験をすることができる機会であるだけでなく、地域の方と交流する機会にもなっている。すれ違う子供たちみんなが大きな声で挨拶をしてくれる元気いっぱいの学校だった。

